

令和7年10月15日

令和7年度 地域連携推進会議実施報告書

報告者：小川 貴士

1. 基本情報

事業所名	ケアホームいろどり	ケアホームかざぐるま
所在地	長岡京市井ノ内宮山 13-1 電話 075-957-2722 FAX 075-957-2729	長岡京市奥海印寺火ノ尾 17-3 電話 075-953-3633 FAX 075-953-3633
担当者	小川 貴士	
運営法人	社会福祉法人あらぐさ福祉会	

2. 開催日時・場所

日 時	令和7年9月18日（木） 13:00～14:35	場 所	ケアホームいろどり多目的室
-----	-----------------------------	-----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考（所属・従事経験など）
利用者	利用者	ワークセンター利用者 ケアホームかざぐるま入居者
利用者代理人	利用者後見人	ケアホームかざぐるま入居者後見人
保護者	利用者家族	ケアホームいろどり入居者家族
地域関係者	地域関係者	元支援学校教職員
施設職員	福祉に知見のある方	(福)乙訓福祉会 統括事業長
施設職員	経営に知見のある方	(福)乙の国福祉会 障害者支援施設晨光苑 施設長
市町村担当者	市町村担当者	長岡京市健康福祉部障がい福祉課障がい支援係 課長補佐兼係長
小川 貴士	法人職員	(福)あらぐさ福祉会地域生活支援部門 統括事業長
永崎 靖彦	法人職員	(福)あらぐさ福祉会本部長

4. 当日スケジュール

1. 開会の挨拶・スケジュールの確認
2. 出席者紹介
3. 法人の概要説明
 - ・あらぐさの理念、基本方針
 - ・あらぐさの歩み、事業所の変遷
 - ・障害福祉センターの利用人数、職員数
4. a) 施設等やサービスの透明性・質の確保
 - ①いじり・かざぐるま説明
 - ・いじり、かざぐるまの歴史
 - ・利用料、経営状況
 - ・開所日数、SS 利用状況
 - ②BCP（事業継続計画）策定状況
 - ・宿直、夜勤者向けの『夜間の緊急時の対応マニュアル』の説明
- b) 施設等・地域との連携
 - ・あらぐさ後援会、あらぐさひろば
- c) 利用者の権利擁護
 - ①利用者の過ごしの様子
 - ・いじりでの過ごし、イベント
 - ②ヒヤリハット・事故報告書等
5. 質疑応答
6. 閉会の挨拶

5. 会議での質疑応答

○市町村担当者より： 緊急時の受け入れについての質問

- ・緊急時の受け入れの部分について、実際に受け入れられている方は制度としては SS を利用されていますか？長岡京市の場合は、こういった緊急時の場合は緊急一時保護として契約をさせていただいているが、その方はどうですか？

→今回利用者されている方は、いじり入居者の方になります。現在、いじりは職員体制上、365 日開所ができていない状況ではありますが、土日は自室で過ごされています。

○施設職員より： 365 日開所についての質問

- ・ゆくゆくは 365 日の開所に向けて進めてられているということですか？施設側の問題もあると思うが、ご家族からの要望も強いと思う。

→365 日開所ができていない状況です。ご家族の健康状態やご逝去に伴って、今後、利用希

望が増えてくると考えられますが、そこに対応することが厳しい状況です。そのため、入所施設を希望されるご家族もいます。今後どうするのかは、乙訓中のホームが抱えた課題だと思います。職員は相当奮闘しているが、職員が奮闘しきれないところがある。求人応募が無い、定着しない問題が大きいと思います。

→ご家族とご相談もさせていただいて、個別の状況に合わせて少しづつ進めさせていただいている状況です。

○施設職員より： 職員数についての質問

- ・ いろどり、かざぐるまの職員数の説明があったが、その人数だけでまわしているのか、サポートセンターからも応援をもらっているのか、いかがですが？

→いろどり支援員として勤務に入る場合と利用者のヘルパーサービス時間に合わせて勤務している形があります。いろどりの職員数でシフトを作ってまわしている状況です。

○施設職員より： 災害時の安否確認についての質問

- ・ 利用者さんの災害が起こった時の安否確認と職員の安否確認で考えられていることはありますか？携帯を持っていないご家族もいると思います。

→緊急メール配信システムで安否確認を取る方法を考えています。災害があっても通信が確保されるとのデータに基づいたもので職員用、家族用など区分分けしており、一斉にメールをしています。メールが苦手だという家族もおられます BUT それでも 8割くらいのご家族にはシステムに入会してもらっています。

○市町村担当者より： 災害時についての情報提供

- ・ 利用者の安否確認のところでは、最近の取り組みとして個別避難計画といって、それぞれの方の生活状況や配慮点を事前に伺い、まとめたものを地域福祉連携室に提出してもらうというものを始めている。それを提出していただいたからと言って必ず行政が助けに行けるわけではないが、どこにどういう方がいるという情報の共有が容易になるもの。予定している避難所に、その方が避難していない場合などが分かれば、どうされているのかの確認ができるものになる。

○施設職員より： ヒヤリハットについての質問

- ・ ヒヤリハットの傾向として、こういう事故やヒヤリハットが多いというものはありますか？例えば当施設では、配薬で飲ませたと思ったら呑み込みていなくて落ちているということがあった。そういうことがあった場合に検討する場所がありますか？

→最近で言うと、口腔ケア時に、利用者がスポンジブラシを噛んでしまい、それが破損する（口腔内の残る）ことが多かったです。歯科衛生士から口腔ケアのアドバイスをもらい、スポンジに口腔ケアシートを巻いてケアすることを教えてもらいました。

また薬の飲み忘れ未遂（ダブルチェック不足）や薬の日付間違いが多くみられていました。ヒヤリハットの検討としては、棟担当、副担当で検討し、対策を考えて、その内容を周知し、月に1回の運営会議でも検討するようにしています。緊急時はその都度、検討できるようにしています。ヒヤリハットや事故対応はスピード感が求められるところであるため、職員間が意識するようにしています。

○施設職員より

- ・当施設でも、薬の飲み忘れや薬が落ちていたということがあるため、基本的には職員のダブルチェックを徹底しています。それでも漏れことがあります。

○市町村担当者より： 災害時についての情報提供

- ・まだ試行段階ですが、長岡市の公式ラインに登録されている方に対して、ラインを活用して避難状況の報告をしてもらう仕組みづくりをしている。9月4日に報告、訓練を行った。対象としているのは、市が指定している避難所以外に避難している方々の情報が把握しづらい。どこに誰と逃げているのか、どんな支援が必要か、配慮事項があるかないかを入れてもらうもの。それをうまく活用できれば、避難状況の確認ができると思う。災害が起こって受信が不安になっても、ラインだけはつながったことがあったとのことで、今後、活用できればと思う。

○施設職員より

- ・当施設では、利用者は施設にいるため、職員間でラインによる緊急連絡網を作つて確認をするようにしている。定期的に年に数回、災害が起つた前提で試行するようにしている。市のラインのアンケートを使つたりもしている。

令和7年10月15日

令和7年度 地域連携推進会議 施設等訪問実施報告書

報告者：小川 貴士

1. 基本情報

事業所名	ケアホームいろどり	ケアホームかざぐるま
所在地	長岡京市井ノ内宮山 13-1 電話 075-957-2722 FAX 075-957-2729	長岡京市奥海印寺火ノ尾 17-3 電話 075-953-3633 FAX 075-953-3633
担当者	小川 貴士	
運営法人	社会福祉法人あらぐさ福祉会	

2. 開催日時・場所

日 時	令和7年9月18日（木） 14:55～16:35	場 所	ケアホームいろどり ケアホームかざぐるま ケアホームいろどり多目的室
-----	-----------------------------	-----	--

3. 出席者

氏名	分野	備考（所属・従事経験など）
利用者①	利用者	ワークセンター利用者 ケアホームいろどり入居者
利用者②	利用者	デイセンターあらぐさ2利用者 ケアホームいろどり入居者
利用者③	利用者	デイセンターあらぐさ2利用者 ケアホームいろどり入居者
利用者④	利用者	（福）乙訓福祉会 利用者 ケアホームいろどり入居者
利用者代理人	利用者後見人	ケアホームかざぐるま入居者後見人
保護者	利用者家族	ケアホームいろどり入居者家族
地域関係者	地域関係者	元支援学校教職員
施設職員	福祉に知見のある方	（福）乙訓福祉会 統括事業長
施設職員	経営に知見のある方	（福）乙の国福祉会 障害者支援施設晨光苑 施設長
市町村担当者	市町村担当者	長岡京市健康福祉部障がい福祉課障がい支援係 課長補佐兼係長

小川 貴士	法人職員	(福)あらぐさ福祉会地域生活支援部門 統括事業長
永崎 靖彦	法人職員	(福)あらぐさ福祉会本部長

4. 当日スケジュール

1. ケアホームいろどり見学・SS室の確認
 - ①もえぎ男性棟→もえぎ女性棟
 - ・棟の設備、利用者説明
 - ②たちばな棟
 - ・棟の設備、利用者説明
 - ③わかくさ棟
 - ・棟の設備、利用者説明
 - ④ききょう棟
 - ・棟の設備、利用者説明
2. ケアホームかざぐるま見学 ※車2台で移動する
 - ・かざぐるまの設備、利用者説明
3. ケアホームいろどり利用者との懇談・質疑応答
 - ・それぞれの出席者の自己紹介、利用者紹介
4. 閉会の挨拶

5. 会議での質疑応答

○地域関係者より、利用者への質問：『ケアホームで一番楽しいことは何ですか？』

利用者①：皆さんでテレビを見たりしています。歌番組を見たりしています。

利用者④：スポーツが趣味で、野球を見たり、相撲を見たりしています。競馬も見ています。阪神ファンです。

○法人職員より、利用者への質問：『利用者さん、この前は外出でどこへ行きましたか？』

利用者②：(職員の促しから) モクモクファームに行ってきました

利用者③：バスやな

○法人職員より、利用者への質問：『いろどりで困ったことはありますか？』

利用者①：特にないです。家が寂しいです。この前はお母さんに会いに行ってきました。

利用者④：嫌なことはあるしな。施設でもいいことはあるしな。いろどりでは、トイレがゆっくりできない。

○法人職員より、利用者への質問 『さんはお休みの日は何をしていますか？』

利用者④：11／6 にあらぐさひろばがあるでしょ。その後、ガラシャ祭りがあるでしょ。

僕は電車に乗ってどっこも行かへんわ。コロナでな。行くんやったら自転車。

利用者②：火曜日に動物園。JR て言うてた？阪急やった？どこから電車に乗るんやろ。

利用者①：僕は N ヘルパーさんや。

(職員の促しから) いろいろには慣れてきました。

○法人職員より、利用者への質問 『今日、もえぎ棟に SS に利用者が来ますがどうですか？

困ることはありますか？』

利用者④：僕の部屋を勝手に開けようとしてた。お風呂の時間は変わってもどうもない。

人の部屋に勝手に入ったらあかん。

○市町村担当者より、利用者への質問 『いろいろのメニューで一番好きなご飯は何ですか？』

利用者①：僕やったらからあげ。

利用者④：私やったら、フライとかスパゲティサラダとか。カレーも好き。

利用者③：カレーや